

かけはし

学校だより
令和6年度 10月号
高松市立弦打小学校



実りの多い秋に！

校長 池田 茂樹



昨年度も9月は厳しい残暑でしたが、今年はそれ以上に猛暑日が続きました。秋分の日を過ぎて、少しずつ涼しい風が吹くようになり、ようやく秋を感じることができるようになりました。過ごしやすくなってきた10月には、学習を本格的に展開していくとともに、読書や体力づくりなどにもじっくり取り組んでいきたいと思ひます。

本年度も前半の6か月が終わりました。これまでに学んだことを活用して、新しい学習課題に自ら挑戦し、友達と協力して課題解決しながら、どんどん力を伸ばしていくことができるようにしたいと思ひます。

また、今月は「もっとよくする！みんなの学級・学校」という生活目標のもとに、進んで仕事に取り組み、最後まで責任をもってやり遂げ、努力や成果を認め合いながら、豊かな学校生活を創造する弦打っ子をめざします。多くの実りを実感することができる秋にしたいと思ひます。



エピソード4 「協力・責任・感謝の心を学んだ屋島集団宿泊学習」5年生

7月16日(火)～17日(水)に、5年生が屋島少年自然の家で集団宿泊学習を行いました。ルールやマナーを守って行動したり、進んで協力したりすることを通して、集団の一員として責任感をもって行動することの大切さを実感することができたと思ひます。

また、先日、6年生が修学旅行に出かけていた2日間も、弦打小学校の最上級生として委員会活動の仕事を自分たちだけで頑張り、頼もしい姿を見せてくれました。

協力・責任・感謝の心を、行動として表す実践力が身に付いてきた5年生に、本年度の後半も多いに期待しています。

